
DVD

VISIA

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

D V D

【Nコード】

N 8 2 4 3 V

【作者名】

V I S I A

【あらすじ】

普通に視聴していれば起きない出来事だと思います。

（前書き）

多分、窓ガラスは割れないでしょう。

リサイクルショップで、怪しいDVD を見つけた。

作品内容を紹介したパッケージの紙が抜かれたまま厚いビニルでシユリンクされており、” 500円 ” の値段シールが貼られていた。

普段なら手を出さない類いのモノだが、宝くじで600円当てた分の小銭がズボンに入っているのを思い出し、

運が来ている。

と、何かビリビリと背中に感じて迷わずソレを手に取り、レジへ持っていった。

家に帰ると、早速DVDを再生してみた。

内容は、素人が撮ったような30分の映像で、夜道を歩いている若い女性が、後ろから襲ってきた男に刺されて亡くなる、というものだった。

つまらない内容だったが、女性が好みのタイプだったので、もう一度見てみることにした。

すると、先程見た時には無かった女性が携帯電話を操作する場面が出てきた。

「あれ？」

その後は、先程と同じ場面の繰り返しだった。

気になってもう一度最初から見ると、今度は女性が操作する携帯電話の画面が追加されてあった。

その画面には、名前と電話番号が出ていた。

「メモメモメモメモ。」

新手の詐欺かもしれないと一瞬ためらったが、

電話に出たのが男なら切ればいい

と開き直って、その番号に掛けてみることにした。

「……。」

だが、電話は通じなかった。

「そりゃそうだよな。」

もう一度だけ、最初から見て終わりにすることに決めた。半分飽きていた。

夜道を女性が歩く場面で、操作していた携帯電話を今度は耳にあてた。

「えっ？」

自分の隣に置いておいた携帯電話が鳴った。

着信番号は、先程自分が掛けた番号と同じだった。

電話に出るのを躊躇していると、テレビの女性が電話を切って鞆に仕舞うのと同時に、自分の携帯電話も静かになった。

「まさか…ね。」

先程の所まで早戻しして、自分の携帯電話を汗ばんだ両手で握り着信を待った。

きたっ

慌てて電話に出た。

「もしもし…」

『どなたですか？多分、番号間違っていると思いますが…』

「え、えっと、その…貴女を見ている者ですが…」
『気持ち悪いこと言わないでください。』

電話を切られてしまった。

その後、何度も挑戦したが女性に自分の伝えたいことを言えなかった。スキルが足りないようだった。

挑戦を繰り返して、家に帰ってきてから2時間が過ぎた頃、電話を切ったテレビの女性が、携帯電話を鞆に仕舞おうとして道に落とし、気付かずに行ってしまった。

「えっ？」

場面を戻そうとリモコンを手を取ったとき、テレビの画面に、女性の後ろを歩いていた男が出てきて、落ちていた携帯電話を拾った。

男は、女性の携帯電話を暫く操作していたが、太いゴツゴツした指の動きを止めると、携帯電話を耳にあてた。

「……。」

自分の携帯電話が再び鳴った。

居留守を決めてテレビの男の様子を見てみると、男は段々イライラし始めた。

「で、でも、このまま再生を止めれば…全て無かった事に…」

DVDプレイヤーが壊れた。

ボタン操作を全く受け付けなくなってしまった。コンセントを抜いても変わらなかった。

「つまりは、最後まで見ろということ…か。」

テレビの男は、イライラの限界を超え乱暴に携帯電話の通話を切ると、近くの民家の窓ガラスへ向かって携帯電話を投げ付けた。

ガシャアアアン

テレビの音と自分の後ろでガラスが割れる音が重なった。

テレビの男は、そのままどこかへ歩いていった。

割れて散乱した窓ガラスのなかに、テレビの女性が使っていた携帯電話があった。

そして、女性の悲鳴が聞こえた。テレビでは、女性が襲われている場面が続いていた。

外から聞こえる女性の悲鳴がテレビの女性の悲鳴と重なり、怖くてその場から動けなかった。

（後書き）

DVDの再生が終わって、慌てて震える手で携帯電話をつかみ警察へ電話しようとした時、その携帯電話が女性のもだったことに気付いた。

「……………」

携帯電話の画面には、DVDの続きと思われる動画が流れていた。

刺された女性が、来た道を高速で這い戻っている動画だった。

落とした携帯電話を探しているようだった。

そして、見たことのある家の玄関前で動きを止めた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8243v/>

DVD

2011年10月6日18時01分発行